

第8回 学校危機メンタルサポートセンター・シンポジウム

トラウマインフォームドケア

～トラウマケアの基盤作りを目指して～

日本でもようやくトラウマインフォームドケアという言葉を目にする機会が徐々に増えてきました。

アメリカでは、小児期逆境的体験(ACEs)の研究が発端となって、子どもや大人の中にトラウマを抱えている人が少なくないことが知られるようになりました。また、その影響が精神的なもののみならず、身体疾患や貧困などの社会問題にも及ぶこともわかってきています。

今後、日本の社会においてもトラウマを抱えている多くの人たちのことを理解して対応していくこと(トラウマインフォームドケア)が望まれます。

今回は、心理、福祉、教育、医療など精神保健に関わる人たちが、それぞれの領域の中で、トラウマインフォームドケアとして、どのようなことを求められ、どのようなところに気をつける必要があるのかを考えてみたいと思います。

日時 平成31年3月3日(日) 10:30～16:30

講演1 **トラウマインフォームドケア(Trauma Informed Care:TIC)とは**

～なぜ、TICが必要なのか～

兵庫県こころのケアセンター副センター長・大阪教育大学客員教授 亀岡 智美

講演2 **福祉領域でのトラウマインフォームドケア**

～大阪府子ども家庭センターでの取り組み～

大阪府中央子ども家庭センター主査

島 ゆみ

講演3 **教育領域でのトラウマインフォームドケア**

～マサチューセッツ州の取り組みを参照して～

徳島大学保健管理総合相談センター

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員

中村 有吾

ワークショップ **トラウマインフォームドケアの実際**

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター准教授

岩切 昌宏

対象者 心理、福祉、教育、医療など精神保健領域

でトラウマ臨床に関心がある方 80名まで

会場 学校危機メンタルサポートセンター

参加費 無料

申込方法 E-mailで nmscinfo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp宛に、①住所②氏名③所属と役職(臨床心理士の方は、登録番号を忘れずに記載してください)④連絡先、そして「シンポジウム参加希望」と書いてお申し込み下さい(2月26日締切)。

※ 昨年度、臨床心理士ワークショップのポイント申請承認されました。本年度も申請予定です。

〒563-0026 大阪府池田市緑丘1-2-10

Tel : 072-752-9905 / Fax : 072-752-9904

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター



最寄駅からのアクセス

